



林 声

2013

3 月号



岡山県立玉野高等学校の旧物理教室を改装した多目的ルーム「ゆかし」です。
高校生の企画提案事業で整備したもので、壁に瀬戸内海の風景がデザインされ、床には点字ブロックの代用として木目を浮き立たせた“うずくり”が用いられています。

【施設概要】床面積174m² 木材使用量 6.5m³ (高校生「県産材活用」UD整備事業)

目 次

協会だより(活動報告)	2	山火事の防止について.....	10
がんばる森林組合 (作州かがみの森林組合) ...	3	技能講習会、イベント情報.....	11
普及最前線「この人に聞く」⑫.....	4	林産物市況.....	12
普及情報 (勝英地域)	5	事務局からのお知らせ.....	14
林業技術⑤.....	6		
研究だより.....	7		
木材利用・技術⑥.....	8		
おかやま森づくりサポートセンターだより.....	9		



岡山県マスコット
「うらっち」と「ももち」

平成24年度

だより 協会

平成24年度の協会の一年を振り返り、活動状況をお伝えします
(事務局)

県林研グループ 交換研修大会開催

7月18日、新見市「まなび広場」に、県内の林研グループが一堂に会し、岡

山県林業研究グループ交換研修大会を開催しました。活動事例発表や、各林研の活動報告など、年に一度、グループ同士の交流を深め、次の活動につながる情報交換が行われました。

午後からは、ボランティアガイドの方による

「御殿町まち歩き」、創山林業さんのおが粉プラントの視察見学と大変暑い時期でしたが、参加者相互に元気をもたらせたようで、和やかな雰囲気でした。



新見市神郷女性林業研究グループさんの「こけ玉」展示



御殿町まち歩き

新おかやま森の大使決定

森林・林業のPRスタッフ「おかやま森の大使」第11代目となる2名が決定しました。



左：濱田 南さん 右：佐々木 曜子さん

今年度は、地元岡山のオフィスユニフォーム会社・(株)セロリー様の協力により、制服をリニューアルしました！夏服はオリジナルデザインです。お楽しみに！

また、コンサルタントネットワーク・小林朗子さんからアナウンスや接遇の研修を受け、派遣



おかやま森づくり県民税PR

体制も整えました。様々な場面でお手伝いいたしますので、派遣依頼をお待ちしています。

高校生 森林・林業 体験活動 大学生

深めていきました。

岡山大学農学部(株)セロリー様の協力により、制服をリニューアルしました！夏服はオリジナルデザインです。お楽しみに！

「高校生等に対する林業経営・就業体験等事業」を活用して、次代を担う子ども

たちに、地域の森林・林業を知ってもらおう体験活動に取り組みました。

県立勝間田高校の2年生9名は、林業関係の企業・

関係機関を訪れ、就業体験を行いました。林業の現場で実際に使用されている機械を操作するなど体験を通じて、森林や林業に対する理解を



△勝間田高校就業体験
◁岡山大学間伐体験

毎年調査から伐倒までの間伐作業を体験しました。鏡野町林業研究グループ連絡協議会の会員を中心とした現地スタッフから指導を受け、一つの工程を確認しながら間伐技術を学びました。また、林研グループ会員による林業講話を聞き、林業の大変さと大切さを同時に感じていました。

特集「がんばる森林組合⑩」
作州かがみの森林組合の紹介

津山普及指導区

一 はじめに

作州かがみの森林組合は、苦田郡4組合が平成18年10月に合併して設立され、民有林面積約32,000畝のエリアで主に間伐等の森林整備に取り組んでいます。

本年度から始まった森林経営計画制度による集約化施策の取り組みと、ナラ枯れ被害対策について小椋業務部長にお聞きしました。



小椋業務部長

二 インタビュー

集約化施策の取り組みは？
平成19年度から低コストモデル

団地の設置に着手し、森林所有者への施策提案により、百谷地内102畝、羽出地内87畝の団地を取りまとめました。22年度には集材方法別（ウインチ集材、グラップル集材等）に作業工程を数値化し、間伐コストの分析・検討を行いました。これらの結果を職員が共有することで、個々の現場に応じた施策プランを立てる一助となっています。



間伐コストの検証

集約化施策の今後の推進は？

新たな経営計画制度では、団地規模や間伐面積を一定規模まとめていかなければなりません。

そのためには、小規模林家や不在村等の森林所有者にも積極的に関わり、ニーズを把握しておくこ

とが重要です。

既に、経営計画を作成した団地においても、制度を早期に定着させ、本格的な運用を進めていく必要があります。

今後、取組事例を増やして検証を重ね、現場条件に応じた作業システムにより、集約化施策を推進し、経営計画の着実な実行につなげていかなければならないと考えます。

ナラ枯れ対策の取り組みは？

上斎原地内でナラ枯れが発見された21年度以降、拡大防止のために県、町と連携して早期発見と徹底駆除を実施しています。

昨年8月には、町のナラ枯れ被



間伐コストの検証

害対策協議会が発足し、地域が一体となり、防除体制を整えました。

当組合も会に参画し、キノコ生産者等との間で、更新伐した高齢木をシイタケ原木として届けること等を申し受け、拡大防止と広葉樹利用促進の新しい取り組みを始めています。

最後に一言

再生可能エネルギーへの関心が高まる中、未利用間伐材の利用等、新たな取組を追い風にして、豊かな森林を守り育て、次世代に引き継いでいかなばならないと考えております。

三 インタビューを終えて

これらの取り組みは、山をよく知り、地域林業を担う森林組合が主体的に行うことで事業効果が高まり、地域に根ざした活動に繋がっていると思います。

当組合の実践が、更に発展し、モデル事例として県下に波及していくよう支援したいと思います。

（津山普及指導区

林業普及指導員 難波武博）

普及最前線

「この人に聞く！」 12

富原婦人林業研究クラブ

会長 戸田 温子さん



手前中央が戸田会長

○はじめに

真庭市の富原地区で、里山の山野草を使った商品開発に取り組んでおられる富原婦人林業研究クラブ会長の戸田温子さんを訪ねました。今年度に商品開発した「くず新芽ブレンド茶」は様々なメディアで紹介され大反響となつています。新商品開発に至る経緯や苦労されたことをお聞きしました。

○取り組みきつかけは？

商品開発に取り組むきつかけは里山活性化を目的とした真庭市主

催の「里山宝探しセミナー」に参加し、身近な薬草を日常の食事に取り入れた健康生活や、それを活用した村おこしで著名な「崇城大学薬学部 村上光太郎教授」との出会いでした。自生している山野草の薬用効果や栽培方法の指導を受け、山野草を活用した調理等の利用方法を研究しましたが、今回の商品開発に繋がりました。

○利用方法の検討で苦労したことは？

初回のゼミで雑草とっていたものの多くが薬効のある薬草であり、富原には多くの活用できる山野草があることに気付かされました。

2回目以降は、加工の実践検討で「アザミ」「タラ」「スベリヒユ」を活用した調理の実践を行っていきます。アザミをそのまま天ぷらにした方がいて、とげで口が痛くて食べられない失敗談もありました。参加者の多くは家族を実験台に試行錯誤を繰り返して、様々な調理パターンを生み出し、みんなで調理したものを試食し、出品者が発想や調理方法を発表します。先生の評価は「普通に美味しいものではダメ」「手が込みすぎて素材の味がしない」と実に辛口で、当クラブ

員に更なるやる気を刺激し、楽しんで中にも緊張感のあるものとなりました。

○「くず新芽ブレンド茶」開発における苦労話？

お茶に注目したのは、富原が古くからの生産地であることが理由で、メインの材料に「クズ」を選択したことは、刈ってもすぐ大きくなり生命力があり、何処にでも自生していること、森林の管理を怠るとすぐに増える厄介ものであることが上げられます。ブレンドに拘ったのは、クズは肝機能向上、ヒノキは殺菌効果、クワは滋養強壮、アスナロは肝臓、クマザサは胃に良い等の薬効の相乗効果を狙ったものです。

苦労した点として、材料の採取がほとんど人力で、特にクズの新芽は穂先から20cmに限定して採取しており、手間がかかります。つぎにブレンドの配合率で、何度も配合を検討し、高校生から高齢者まで試飲してもらい、クズを5割にした爽やかな香りと甘さが特長のお茶に仕上げるのに苦労したことが上げられます。

○今後の展開について

「くず新芽ブレンド茶」の生産販

売については、来年度300袋を目標に頑張りたいと思います。また、新商品の開発や「身近な山野草の健康食料としての魅力」を多くの人々に伝えていきたいと思っています。



新商品「くず新芽ブレンド茶」

○おわりに

身近な山野草を材料に商品開発に至るまでの熱意とご尽力に対して改めて感謝いたしました。

また、ブランドキャッチコピー「富原やまんばあば」やキャラクターも設定する等の販売戦略もなかなかのものです。今後も連携して活動していきたいと考えています。

(真庭普及指導区)

林業普及指導員 窪井裕誠

普及情報

岡山甘栗の産地化



当普及指導区では、森林研究所で開発された「岡山甘栗」の産地化を目指し、森林研究所及び農業普及センター、勝英農協と連携しながら、約7,000本が植栽された美作市上山地区、勝央町河原地区等を中心に育成指導を行っています。



岡山甘栗

そのうち、美作市上山地区では平成24年5月にシカの食害が発生し、現地調査の結果、約5割程度の苗木の新梢が食害を受けていたことから、電気柵の設置、忌避剤の活用による被害の防止や、被害

木の樹勢を回復するために即効性肥料の散布を実施するよう指導を行いました。

その後、樹勢回復は見られましたが、電気柵で全面積を囲うことができていないため、再び被害を受けられる箇所もあり、再生の可能性が低い被害木等については、今春接ぎ木を実施する予定です。

また、勝央町河原地区については、被害はありませんでしたが、電気柵の設置について指導を行っています。



植栽後7年目の岡山甘栗

勝英農協では、産地化を進めるため、今後3年間で18,000本程度の植栽を計画しており、苗木の購入補助を行っています。また、苗木購入者への指導は、農業普及センターと協力しながら行っ

ていますが、植付や育成管理指導については林業普及指導員が行うなど、役割を分担しています。

春植えの時期を目前にして、農協から苗木を購入される方を対象に2月7日(木)、勝英農協勝央支店の会議室において「岡山甘栗栽培講習会」を開催したところ、当初20名程度の参加者を予定していましたが、近隣の奈義町、美作市、津山市から50名をこえる参加者がありました。パワーポイントにより岡山甘栗の特徴・種類・適地の選定等の栽培方法について40分程度の説明を行いました。



栽培講習会の様子

参加者は既に利平などの日本栗を栽培している方が多いためか、植栽地の条件や収穫量、凍害防止方法等レベルの高い質問が多く寄

せられ、みなさんが非常に高い関心を持っていることが解り、熱心な討議を行うことができました。

今後は、現地での植栽指導を進めることや、これまでに植栽を行った生産者への苗木の育成・剪定等について指導を行い、農協や農業普及センター、森林研究所と連携・協力して産地化を推し進めていきたいと思ひます。

(勝英普及指導区

林業普及指導員 長畑弘道)

スミヤケール 販売中!
 ドラム缶式炭化炉に比べ、はるかに簡単！
 手軽に炭が作れます。

(岡山県森林研究所 寄贈)

軽量コンパクト
耐久炭化炉
 (ステンレス)
 工具不要で簡単
 (組み立てる)

煙突1ヶタイプ (サイズ2種)
 煙突2ヶタイプ (サイズ4種)

株式会社 ファインテック・タケダ
 営業本部 兵庫工場
 岡山県倉敷市高橋町有井141-7
 TEL: 0866-98-5312(代表)
 FAX: 0866-98-5316

林業技術⑤
植林施業の省力化

背景

戦後に行われてきた拡大造林により、人工林の多くが40～50年生となり標準伐期を迎え、育林の時代から本格的な利用の時代に入っています。将来の森林資源の構成を適正にするともに、持続可能な森林経営を行っていくためには、伐採後の再造林を欠かすことはできません。しかし、近年の材価低迷の影響により再造林費をまかなうことが困難となり、造林放棄地が見られるようになりました。このような状況を改善するため、様々な省力化の植林作業に係る取り組みが行われています。

主な省力化技術

①低密度植栽

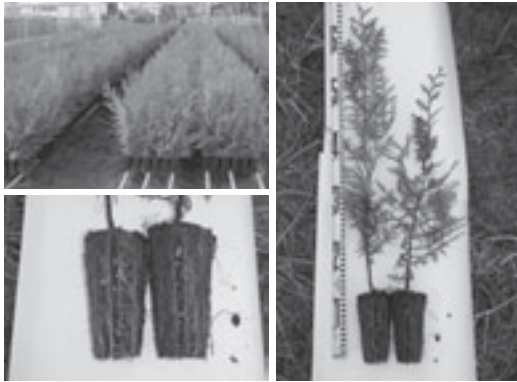
苗木を従来より少ない本数（ha当たり1000～2000本）の密度で植栽を行うとともに、下刈りは坪刈りとするなどして、苗木代や植栽及び保育に係る人件費を抑制することができます。

②大苗植栽

1m以上に育った苗を植栽することで、下刈りを省略できます。

③コンテナ苗

根鉢が成形された専用のコンテナで育てられた苗です。従来の苗木に比べて、植穴を小さくすることができ、植え付け作業の省力化（1人1日当たり400本植栽〔普通苗の場合1人1日当たり200本植栽〕が期待できます。また、従来の苗木のように根切り作業を行わないため、根茎がコンテナ内で発達し、植え付け後の土壌への順応が早く、成長が良好である上、植栽時期を選ばないため、作業の平準化を図ることができます。



コンテナ苗



植え付け専用機具



専用機具による穴あけ作業状況

④セラミック苗

吸水性のある陶器の筒をポットとして育てられた苗です。コンテナ苗よりも容量が小さいため、さらに植え付け作業の省力化（1人1日当たり700本植栽）を図ることができます。また、コンテナ苗と同様に、植え付け後の生育は良好であり植栽時期が限定されません。

⑤エリートツリー



根の生長により陶器の筒が割れる



セラミック苗

従来の品種に比べて、格段に成長が良い苗木です。初期の成長が早いいため、雑草木の被圧から抜け出す年数が短くなり、下刈りを軽減することができます。また、樹冠がうつ閉するまでの期間も短く、低密度の植栽に向いています。

おわりに

植林作業の省力化への取り組みは、個々の技術だけでなく、様々な技術や作業システムの組合せにより、相乗的にその効果を発揮することができます。

（普及推進課 林業普及推進班）

研究だより

岡山県産木材の強さ(その⑤)

森林研究所 木材加工研究室
特別研究員 小玉泰義

前回は、岡山県産スギ、ヒノキの強度等級区分について説明しました。今回は、スギ、ヒノキの用途を拡大するための2×4材(枠組壁工法構造用製材)への利用について述べます。

岡山県のスギ、ヒノキ等は、その森林資源としての供給体制が整備されつつあります。しかし、現在の原木丸太の市場価格を考えると、現在の主に管柱の生産を想定した需要だけでなく、広い範囲の需要を掘り起こす必要があります。いきなり新用途といってもハードルが高いので、現在の用途の周辺から開拓していくのが妥当でしょう。現在でも間柱や筋交等の生産が行われていますので、法的な整備がなされればそれなりの需要が期待されます。そのような観点から行われた2×4材の強度について述べます。

スギとヒノキで2×4材(断面寸法、38×89mm)と2×6材(断面

面寸法、38×140mm)、2種類の部材をつくって、曲げ、引張、圧縮、および、せん断の強さを調べました。試験方法は、枠組壁工法構造用製材で一般に用いられる方法ですが、軸組工法の住宅に用いられる方法とほぼ同じです。

図1と図2に、曲げ試験の結果を示しました。図1からわかるように、板類においても曲げ強度と曲げヤング係数の間には相関関係があります。即ち、ヤング係数が大きくなるに従って、強度も大き

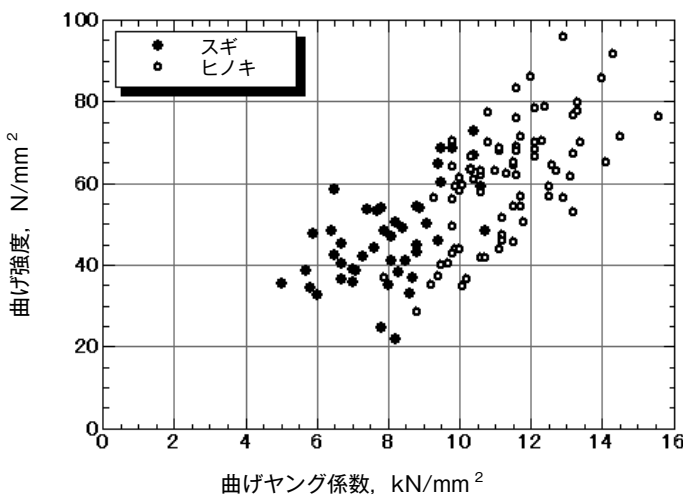


図1 県産2×4材の曲げ強度と曲げヤング係数の関係

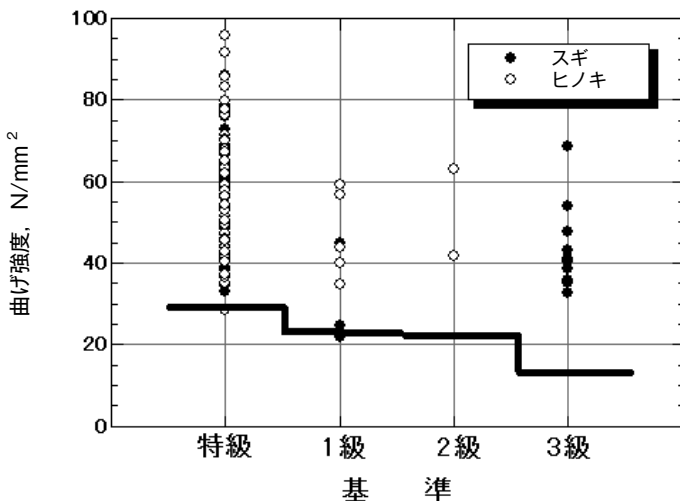


図2 県産2×4材の等級別 曲げ強度

くなる傾向にあります。MSRと呼ばれる種類の製材は、この性質を利用して仕分けされます。図2は、目視による等級で分けた曲げ強度を示しています。各等級で階段状に示した線は、現在、枠組壁工法構造用製材でもっとも一般に用いられる樹種の一つであるSPF(スプルース・パイン・ファー)の基準強度を表しています。

概ね、SPFの基準強度を満足しているように見えます。曲げ試験だけでなく、圧縮、引張の各試験においても曲げ試験同様、各等級の強度はSPFの基準強度を概ね満足するという結果が得られています。試験データをより多く整備することで、スギ、ヒノキ等の県産2×4材に、より高い性能の評価が与えられることが期待されます。

その4：平成24年7月号に掲載。
MSR製材：機械による曲げ応力等級区分を行う枠組壁工法構造用製材

木材利用・技術 ⑥

「県産材サポーター養成等事業」
の実施について

一 はじめに

岡山県では、おかやま森づくり県民税を活用して、平成24年度から県産材を使った住宅や建築物等に関する相談・要望に対応できる人材を県産材サポーターとして養成し、そのサポーターを有する工務店等を登録する「県産材サポーター養成等事業」を実施しています。この事業は、県産ヒノキ販路拡大等推進事業の一環として、(社)岡山県木材組合連合会への補助事業として実施しています。

今年度は、11月に全3日間の日程で県産材サポーター養成講座が開催され、意欲ある建築工事業や大工工事業等に従事する方が参加し、60名が初の県産材サポーターとして認定されました。

二 県産材サポーター養成講座の内容

養成講座は11月7日、14日、21日の日程で開催されました。

第1日目は、赤磐市にある県農林水産総合センター農業大学校で開催され、木造住宅の構造計算の基礎や岡山県の森林・林業等の現状、木材の基礎的性質など森林や林業・木材産業に関する基礎的な内容の講義が行われました。また、当日は木の家づくりセミナー(林野庁補助事業)との同時開催であったことから、建築業や大工工事業の方などを中心に80名以上が参加し、講師の話に熱心に耳を傾けていました。



第1日目講義

第2日目は真庭市内の製材工場や木材市場、木材伐採現場等を視察する現地研修が実施されました。建築業等の方が普段見る機会が

少ない製材機械や木材乾燥施設、木材市場などを視察することで、木材産業に対する理解を深めていただけたと思います。また、午後は真庭森林組合による高性能林業機械を使った木材搬出現場を視察しました。



第2日目現地研修

第3日目は岡山市内のピュアリティまきびにおいて木材全般に関する講義及び県産材サポーター認定式が行われました。

県農林水産総合センター森林研究所木材加工研究室の研究員等から木材の強度や木材乾燥、耐久性など幅広い分野について詳細な実験データ等を踏まえた講義が行われ、全3日間に渡って実施された

講座を終了しました。

講義後の認定式では、全ての講座を修了した60名を初の県産材サポーターに認定し、代表の方に木製の認定証が授与されました。



認定式

三 おわりに

養成講座終了後、認定サポーターが所属する工務店等52社が県産材利用工務店等として登録され、県木連HPで公開されています。

(<http://www.kateki-kinoue.or.jp/>)
今後もこのような取組を通じて県産材の需要拡大に努めてまいります。

(林政課 林業木材班)

おかやま森づくりサポートセンターの活動について

おかやま森づくりサポートセンターは、森林ボランティアグループ等が行う自主的な森づくり活動を支援することにより、「県民が育て楽しむ森づくり」を推進することを目的に、平成24年6月に森林ボランティアグループ、林研グループ、森林組合など25団体の参加を得て発足し、現在33団体が加入しています。

サポートセンターの活動内容

①県民が育て楽しむ森づくり活動支援事業

この事業は、サポートセンターの会員を対象に、植樹などの森林整備活動や、きのこ栽培などの森の恵みを楽しむ活動に対して、30万円を上限に補助する制度で、本年度は「備中足守竹取物語」など10団体が、人工林の除間伐など12の森づくり活動に取り組んでいます。

左の写真は「あかいわ美土里の和」が2月3日に赤磐市で開催した「里山カルチャー教室」で、参加者の皆さんに山菜料理、草木染め、紙すきの3つの体験をしていただいたもので、大好評だったと聞いています。



「あかいわ美土里の和」のみなさん

④森づくりサポーターの登録と派遣・紹介

森づくりの知識・技術を持たれた指導者の方々に「森づくりサポーター」として登録し、学校・企業等が行う森林保全活動等に、森づくりサポーターの派遣・紹介をしています。

現在、18名の方を登録しており、高梁市立宇治小学校などに派遣しています。

⑤ドングリポット苗木の管理及び配布

アベマキなどの苗木約3千本を管理しており、無償で提供しています。

これまでに岡山県トラック協会などに配布しています。



保育のつどい

②森の恵みを楽しむ活動支援事業
この事業は、サポートセンターの中核となる3団体に委託して行う「植樹・保育のつどい」など森林整備活動を行う制度で、竹林の整備など8つの森づくり活動を行いました。

右の写真は「岡山森林組合」が10月27日に瀬戸内市で開催した「保育のつどい」で、午後からは、木工品の制作(巣箱)も行われました。
③資機材の貸出
サポートセンターで管理しているナタヤカマなど、森づくりに必要な資機材を無料で貸し出ししており、現在までに企業など19団体に対し、33件の貸出を行っています。



ホームページの開設

ホームページを開設し、様々な情報を提供しています。



(<http://okayama-morisapo.org/>)

おわりに

県民に親しまれ、気軽に相談できるサポートセンターにしていきたいと思っておりますので、皆様方の御支援・御協力をよろしくお願ひします。

サポートセンター 事務局

アドレスはこちら

3月は山火事予防期間です

冬から春先にかけては、空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が大変起こりやすい季節です。

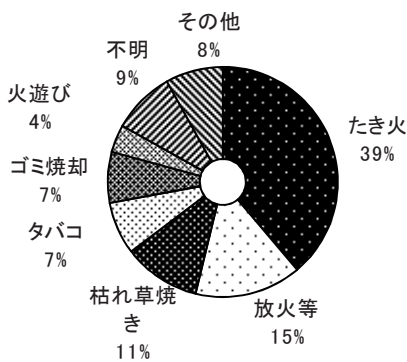
過去5年間で、岡山県では435件の山火事が発生し、218人の緑が失われました。原因のほとんどが、たき火の不始末、たばこの投げ捨て、火遊びといった人の不注意によるものです。

岡山県では、3月を「山火事予防運動月間」として、

『山の火事 もとは小さな火種から』

を統一標語に、山火事の予防を呼びかけています。

出火原因別発生件数比(H20~H24)



(治山課 造林班)

今年から、おなじみのリスに替わって「ももっち・うらっち」が頑張ります。

よろしく!

野外で火を扱う時には、細心の注意をお願いします。

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用緑生基材マット	間伐材利用緑生マット	間伐材利用生分解型緑生マット	間伐材利用生分解型緑生シート	間伐材利用緑生シート
グリーンフォームマット [切土敷岩用]	森樹郎マット [切土土砂用]	森樹郎マット21 [切土土砂用]	張りウッド [盛土用]	ハリシバモック [盛土用]



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山営業所 / 岡山市北区横井上1328-2 TEL (086) 294-1000

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用緑生マット工法「森樹郎(シンキロフ)マット工法」

技能講習会の開催(3~5月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転 玉掛け(未経験者対象)	岡山	3月14・15日、5月23・24日	(社)岡山県労働基準協会 TEL(086)225-3571
	岡山	3月7・8日、9・10日、4月4・5日	
	新見	5月11・12日、16・17日	
	和気	5月9・10日	
	津山	5月23・24日	
;(補助業務経験者対象)	岡山	5月30・31日	
刈払機作業従事者	津山	4月25・26日	
	岡山	5月16日	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)221-2160
		5月22日	
移動式クレーン運転士		3月5日	中国四国安全衛生技術センター TEL(084)954-4661
		5月10日	
はい作業主任者	岡山	4月18・19日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)234-1332

森林・林業関係イベント参加募集

実施年月日	開催場所	イベントの名称	問合せ・申込み先
3.2(土) 9:30~	総社市下倉地内	保育のつどい(ヒノキ林の手入れ、ヒラタケ植菌)	倉敷地域森づくりの会 TEL 0866-92-5600
3.17(日) 9:00~12:30	櫻の杜 (井原市門田町)	櫻の杜塾・第155回杜の市 (特産品の販売など)	櫻の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614
3.24(日) 10:00~14:00	勝山木材ふれあい会館 (真庭市三田)	杜人 i n まにわ(キノコの植菌体験、木工教室、チェーンソーカービング、桜木坊天狗太鼓)	美作県民局 真庭地域森林課 TEL 0867-44-7566
4.21(日) 9:00~12:30	櫻の杜 (井原市門田町)	櫻の杜塾・第156回杜の市 (特産品の販売など)	櫻の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033代

安心と信頼の証を届けます



創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。



日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場
大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL(086)279-0585 FAX(086)279-0460
■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL(086)428-7576 FAX(086)428-6153
■東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-21-3 TEL(03)3863-0722 FAX(03)3863-0778

サンケイの松くい虫防除薬剤

季節的飛来(空中散布・地上散布)が広がる

スマバイン® 乳剤・MC

噴霧器松枯れ防止用散布剤

モリエート® SC

ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

ウッドキング® SP

お問い合わせは最寄りの県農産・森井組合へ

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー® 40

伐倒木用剤

パインサイド® S油剤D

樹幹注入剤

グリーンガード® ファミリー



サンケイ化学株式会社

大阪府足利区西中島4丁目5番1号 電話(04)6305-5871



林産物市況



木 材 (2月20日)

単位：千円/㎡

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り				
杉	3m	14～16	11	-	7	檜	3m	14～16	22	-	14	-	
		18～20	12.5	-	7			-	14	-			
		22～24	12	-	7			-	14	-			
	4m	18～22	10	-	8.5		-	4m	14cm	16	-	13	-
		24～28	10	-	9		-		16～18	20	-	16	-
		18～20	18	-	6		-		20～22	18.5	-	15	-
松	3m	18～24	8	-	5		-		24～28	18	-	16	-
	4m	24～30	10	-	5		-		30cm上	20	-	16	-
・出荷材積 約 1,500 ㎡ 記号 △ 強気配 - 横ばい ▼ 弱気配													
(共販所より概況) スギ：22下は3m、22上は4m造材をお願いします。 ヒノキ：6m材は直材で力の強い(末口16cm～20cm、元口22cm)造材が有利です。 スギ・ヒノキともに直材中心の造材よいと思われます。													

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (2月中旬)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値	備考
スギ	正角 3m 10.5cm 角	特等	G	30,000～35,000	注文挽き
		特等	K	50,000～55,000	
	正角 3m 12cm 角	特等	G	30,000～35,000	注文挽き
		特等	K	50,000～55,000	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	55,000～65,000	
	正角 3m 12cm 角	特等	K	55,000～65,000	
マ ツ	平角 4m 10.5～12cm×15～18cm	一等	K	60,000	
米マツ	正角 3m、4m 10.5cm 角	特等	G	46,000～50,000	
	平角 3m、4m 10.5×15～21cm	特等	G	47,000～52,000	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特等	K	62,000～64,000	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	50,000～51,000	現地挽

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

(野生獣類忌避剤) コニファー水和剤 (幼令樹保護カバー) くわんたい
 (樹皮食い防止に) バークガード (野生草食獣食害防止) 防獣ネット
 (クズ専用除草剤) ゼイトロン・ゼイトロンフレノック・ケイセンエース
 (樹幹注入剤) センチュリーエース ★新発売★マッケンジー注入剤
 (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社 大同商事株大阪営業所
 TEL：086-292-5525 TEL：06-6231-2819



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています

公園緑景施設・土木用資材
 防蟻処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8245 岡山市南区新保通2丁目6番3号
 TEL 086-262-0135 FAX 086-262-0137

FOREST INSURANCE

**森林
 国営保険**



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で17億円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと 21,225 円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと 37,375 円 (5年間計)

1ヶ月あたり
 約 350 円

わずかにビール
 1本分

1ヶ月あたり
 約 620 円

わずかにラーメン
 1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○ご相談は、最寄りの森林組合、県民局(森林整備課)・地域事務所(地域森林課)の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課 電話番号 086(226)7455 (直通)



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

平成二十五年三月一日(第四二八号)
(隔月一日発行)

編集発行
〒700-8750 岡山県林政課内 岡山市北区内山下二一四一六

共 販 日 の ご 案 内 岡山県森林組合連合会 Jforest

4/13(土) 新見木材共販所 開設49周年記念市
4/19(金) 津山木材共販所 開設51周年記念市
// 勝山木材共販所 開設47周年記念市
◆各共販所とも多くの出荷をお待ちしております



6/7(金) 乾しいたけ春季特市
岡山県乾椎茸品評会・箱物コンクールを6月に
開催しますので、多数のご出品・ご参加をお願いします。



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ
ゆうちょ銀行 01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店 1852041
トマト銀行岡山駅前支店 1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

事務局からのお知らせ

◎投稿募集しています

事務局では会員の方からの、紙面に対するご意見・ご要望をお待ちしております。また、イベントの開催、参加者募集のお知らせも行いますので、お気軽に情報をお寄せください。なお、イベント・参加者募集につきましては、掲載希望月の2ヶ月前までにお知らせください。

送付先

700-8570 岡山県庁林政課内 または
717-0013 森林研究所木材加工研究室内

【編集後記】

●会員皆様のご協力に心から感謝しつつ、今年度最後の林声をお届けいたします。一年間ご愛読いただきありがとうございます。頁数が増え、内容充実で読み応えがあった、と感想を持っていただけならとても嬉しいです。
●林業は木材利用の時代に突入しています。来年度は「木を高く売る」ための情報も取り入れていきたいと考えています。(A)
◆情報盛りだくさんでお届けしていただきましたため、久しぶりの編集後記です。今年度も皆さまのご協力により最終号までたどり着きました。
◆川上から川下、木材利用から自然環境まで、テーマと会員の守備範囲を広げていきたいです。(N)

